取扱説明書

CDオートマチックチェンジャー

型名 XL-F503

● もくじは 2 ページにあります。

ーお買いあげありがとうございますー

ご使用の前にこの「**取扱説明書**」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に 3 ～ 6 ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LVT0423-001B

もくじ

お使いになる前に　ページ

準備　ページ

聞く　ページ

〈お知らせ〉
- 本機は、CDを５枚入れることのできるCDオートマチックチェンジャーです。
  本文の説明では、CDチェンジャーに省略しています。

知っておいてほしいこと　ページ

安全上のご注意 ーはじめにお読みくださいー

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠注意

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

●絵表示の説明

注意をうながす記号

一般的注意

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

⚠警告

万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

- 煙が出ている、へんなにおいがするとき

- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

電源プラグを抜く

このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

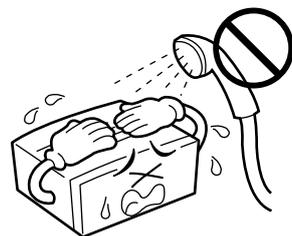
分解や改造をしない。カバーを外さない。

火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

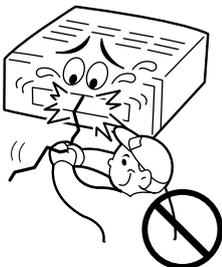
分解禁止

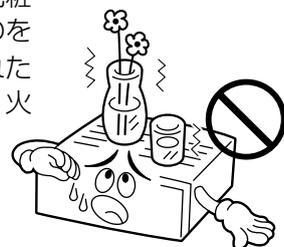
風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

水場での使用禁止

⚠警告

本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

本機の上に水の入ったものを置かない。

花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入ったものを置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

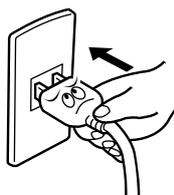
- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取ってください。

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

交流100V以外の電源電圧で使用しない。

火災の原因となります。
本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠注意

電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 専用のラック以外の本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから10cm以上離す

置き場所に注意する。

次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

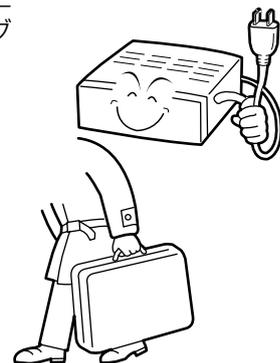
- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

本機の上に重い物を置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

電源プラグを抜く

⚠注意

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。
電源を切る前に、接続したアンプの音量(ボリューム)を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにする。

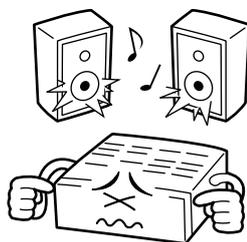
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を受けることがあります。

ディスク挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

手を挟まれないよう注意

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

電池の取り扱いに注意する。

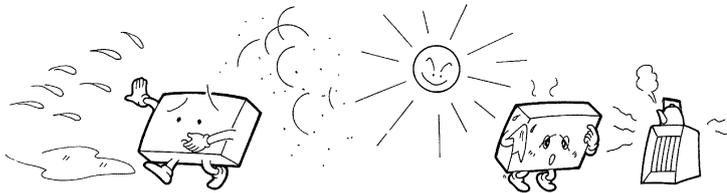
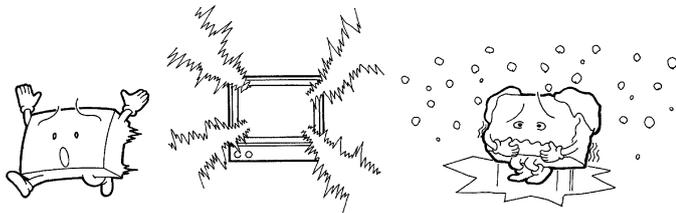
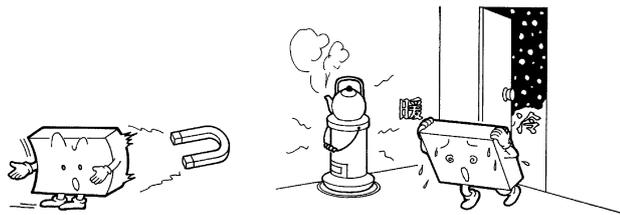
電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス(+)とマイナス(−)を間違えない
- 電池のプラス(+)とマイナス(−)をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長時間使わないときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

使用上のご注意

本機やCDの置き場所について

● 故障などを防止するため次の場所は避けてください。

・湿気やほこりの多い所　　・直射日光が当たる所や暖房器のそば

・アンプやテレビのすぐそば
・不安定な所
・極端に寒い所

・磁気を発生する所
・振動の激しい所
・OA 機器やけい光灯のすぐそば
・寒い所から急に暖かい部屋へ移動したのちしばらくの間

ヘッドホンについて

● ヘッドホンをご使用になるときは耳を刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。

■ステレオを聞くときのエチケット
ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

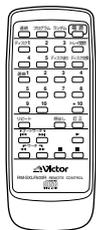
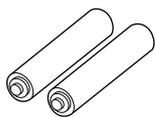
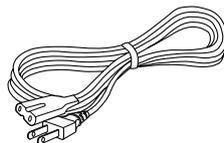
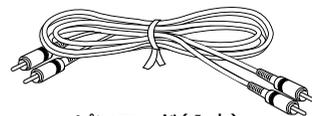
露がついたら

次のような場合、本機のレンズに露（水滴）が付いてCDが正しく演奏できない場合があります。

● 暖房を始めた直後
● 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
● 冷えた所から急に暖かい部屋に移動したとき

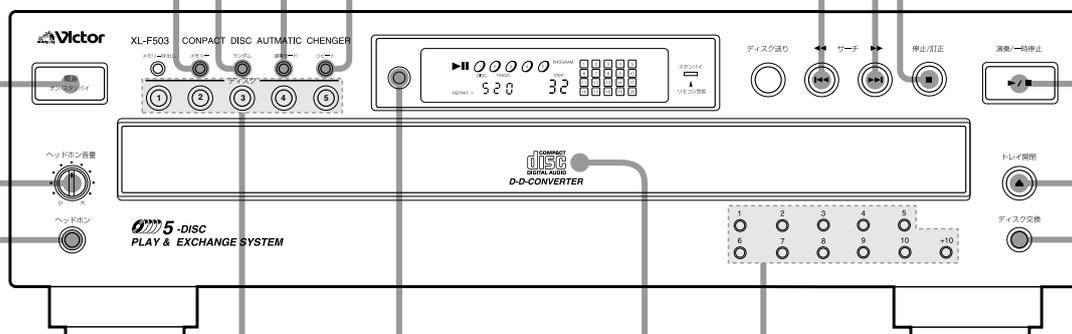
電源を入れたまま、数時間待ってからお使いください。

付属品の確認

お使いになる前に付属品をお確かめください。

リモコン
RM-SXLF503R
（1個）

単3形乾電池
（2本）（リモコン動作確認用）

電源コード（1本）

ピンコード（1本）

リモートワイヤー
（1本）

各部の名前 ー❏内の数字のページに説明があります。ー

本体

本体・表示窓(ディスプレイ)

メモリー呼出しボタン

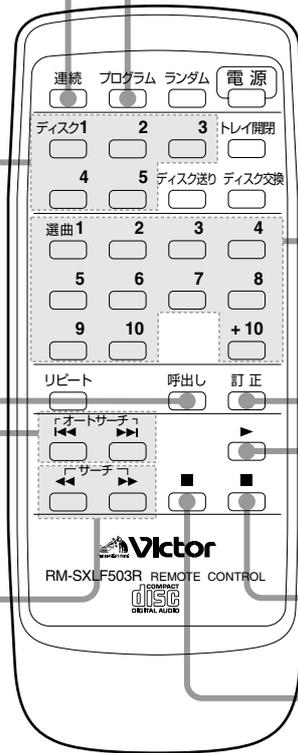
予約したプログラム曲を確認するとき使います。 17

ディスク送りボタン

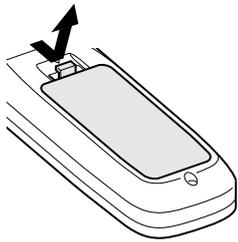
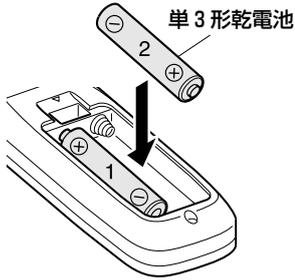
CDをスキップするとき使います。14
押すごとにCD1➔CD2…➔CD5➔CD1…の順に変わります。
ただし、CDが入っていないことを本機が確認すると、そのトレイにはスキップしません。またディスクトレイが外に出ているとき押すと、中に入っているディスクトレイが回転して出てきます。

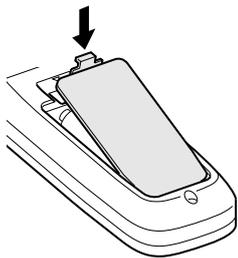
スタンバイランプ

電源「切」のとき点灯します。
使用中は、リモコンの信号を受信したときに限り点灯します。

各部の名前(つづき) —□内の数字のページに説明があります。—

リモコン

説明のないボタンは、本体の各ボタンと同じ働きをします。

リモコンの乾電池の入れかた

1 裏ブタをはずす

2 乾電池を入れる

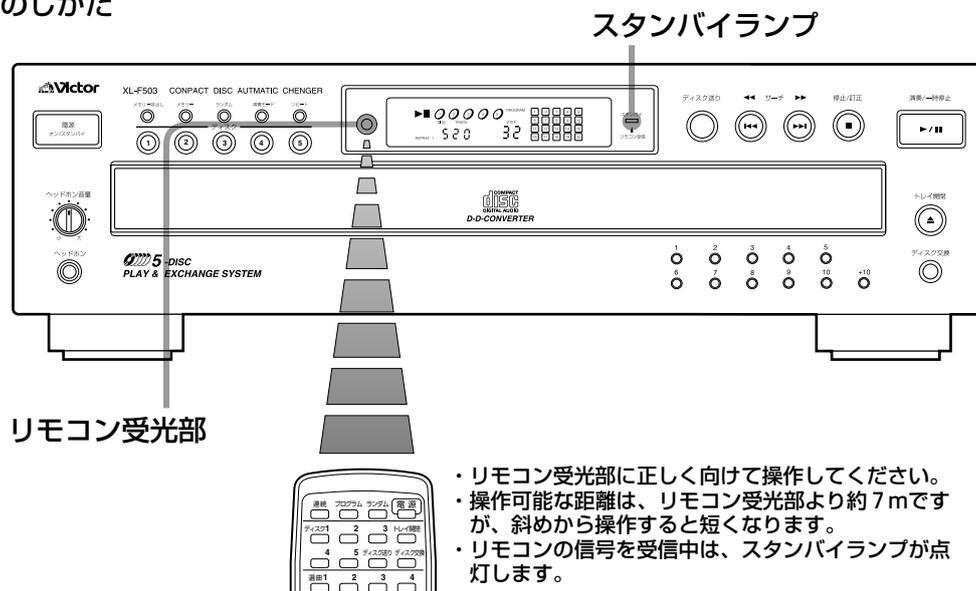
単３形乾電池を２本入れます。
リモコン内部の表示に合わせて極性（＋、－）を正しく入れます。

3 裏ブタを閉める

矢印の方向に戻します。

〈お知らせ〉

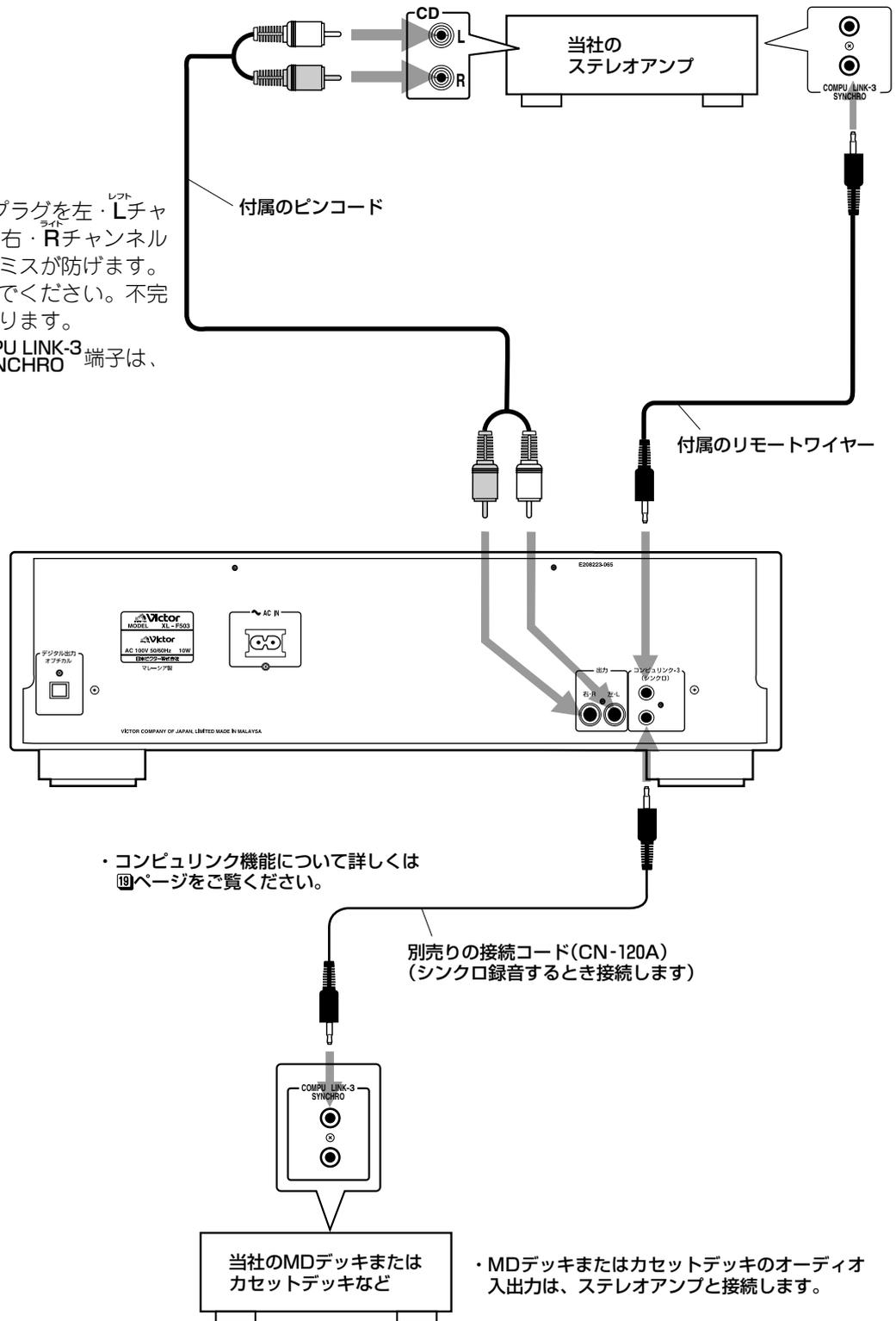
- リモコン操作できる距離が短くなったときは、電池が消耗してきています。
  ２本とも新しい電池（単３形アルカリ乾電池など）に交換してください。
- 付属の乾電池は動作確認用です。早目に新しい乾電池と交換してください。
  乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを表示通り正しく入れてください。
- リモコンを落としたり､強い衝撃を与えないでください。
- 他のラジオにノイズ（雑音）が入るときは、離してお使いください。
- 動作しないことを避けるため、次のような状態で使用しないでください。
  ･リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっているとき
  ･リモコン受光部の前にリモコンの信号を妨げる物があるとき

● リモコン操作のしかた

･リモコン受光部に正しく向けて操作してください。
･操作可能な距離は、リモコン受光部より約７mですが、斜めから操作すると短くなります。
･リモコンの信号を受信中は、スタンバイランプが点灯します。

接続のしかた　―すべての接続が終わるまで電源は入れないでください。―

アナログ接続

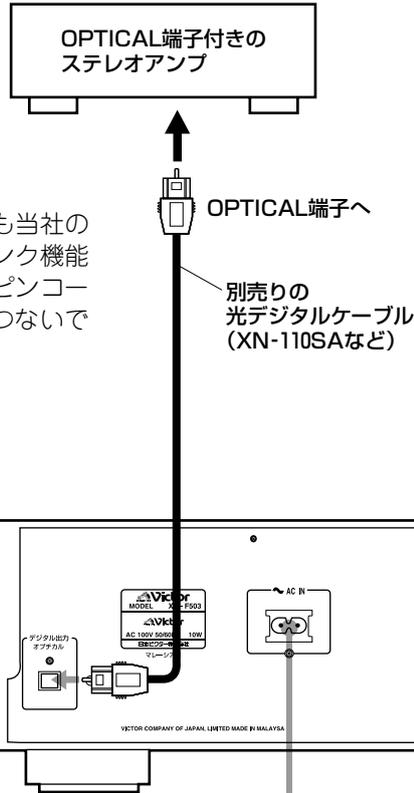
● 本機のライン出力端子とステレオアンプのCD端子を、付属のピンコードでつなぎます。

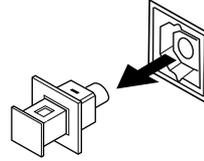
〈お知らせ〉
● 付属のピンコードは白色のプラグを左・L（レフト）チャンネルに、赤色のプラグを右・R（ライト）チャンネルに揃えておきますと、接続ミスが防げます。
● プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音の原因になります。
● コンピュリンク-3（シンクロ）および COMPU LINK-3 SYNCHRO 端子は、当社の製品に限ります。

デジタル接続 －あらかじめ光デジタルケーブルが接続できるか確認してください。－

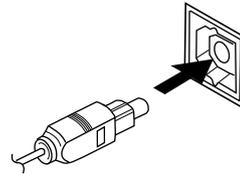
- 本機のデジタル出力／オプチカル端子とステレオアンプを光デジタルケーブルでつなぎます。
- デジタル信号は１本の接続コードでステレオ信号（L/R）が伝送されます。

別売りの
光デジタルケーブル
（XN-110SAなど）

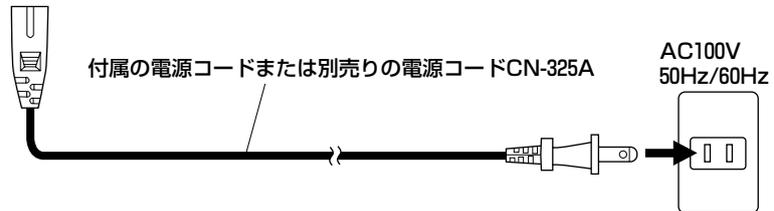
〈お知らせ〉

- デジタル接続の場合も当社の製品とのコンピュリンク機能を使用するときは、ピンコードなどでアース側をつないでおいてください。

- 端子の接続のしかた

1 保護用キャップを外す

・使用しないときは、もう一度保護用キャップをはめておいてください。

2 光デジタルケーブルの先端が汚れていないか確認し、しっかり差し込む

電源コードの接続

すべての接続が終わったら…

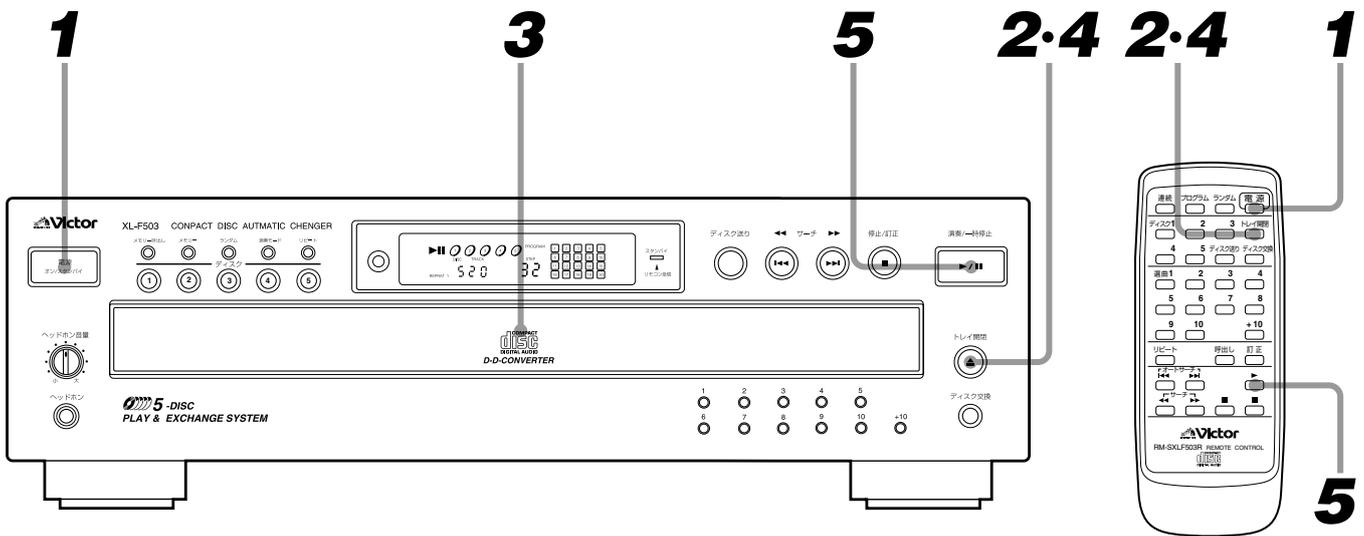
1 AC IN 端子へ差し込んでから…

2 家庭用コンセントへ

・プラグを接続すると、スタンバイランプが点灯します。

〈お知らせ〉

- 形状の違いによる故障や事故を防止するため、指定以外の電源コードは絶対に使用しないでください。
- 電源コードを紛失したり電源コードが断線したときは、お買い上げの販売店で別売りの電源コード：**CN-325A**をお買い求めください。
- 長時間使用しないときは、コンセントから電源コードを抜いておいて安全および節電に心がけてください。

CDを聞く ー番号順に操作します。ー

連続演奏

1 電源ボタンを押す

本　体　　リモコン

・電源が入り、スタンバイランプが消灯になります。

・▶演奏/❚❚一時停止〔リモコンの場合は（演奏）〕ボタンを押したときも電源が入ります。
➡イチ押しプレイといいます。
（CDが入っていたときは、演奏が始まります）

2 ▲トレイ開閉ボタンを押す

本　体　　リモコン

トレイ開閉

・ディスクトレイが出てきます。
お買い上げ時は、CD1〜CD3のトレイ（1〜3の数字で表示）が見えます。
・電源「切」のとき押すと、電源が入りディスクトレイが出てきます。

3 CDをディスクトレイに置く

・文字のある面を上にし、ディスクトレイの溝に正しく合わせて置きます。８センチCDは、内側の凹部に置きます。
・中に入っているディスクトレイ（例：CD4とCD5）にCDを置くときは、ディスク送りボタンを使います。

4 ▲トレイ開閉ボタンを押してディスクトレイを閉める

・曲数と総演奏時間を表示したあとDISC番号の表示になります。

5 ▶演奏/❚❚一時停止ボタンを押す
〔リモコンは▶（演奏）ボタンを押す〕

本　体　　演奏/一時停止　　リモコン

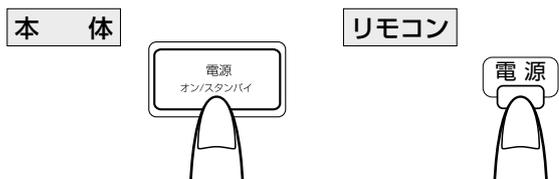
・▶が表示窓に点滅表示され、DISC番号が表示されているCDの１曲目から演奏が始まります。

お買い上げのときはCD1➡CD2…➡CD5の順に演奏されます。これを連続演奏といいます。

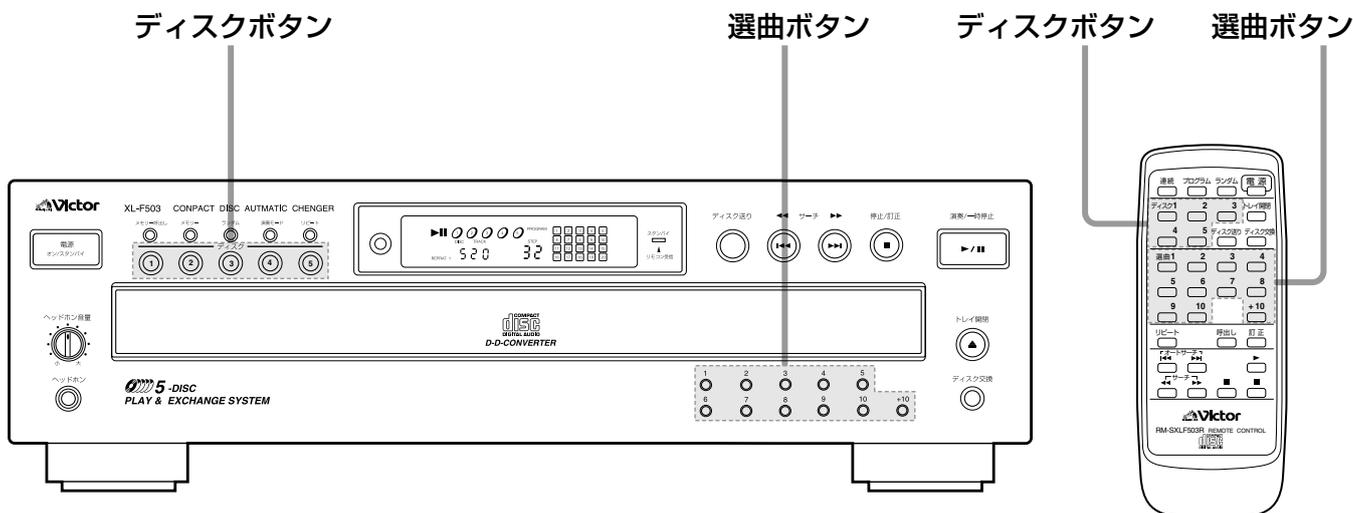
	本　体		リモコン
演奏を止める	停止/訂正 ■	・曲数と演奏時間のあとDISC番号が表示されます。	■
一時停止する	演奏/一時停止 ►/❚❚	・表示窓に❚❚が表示されます。もう一度押すと演奏を再開します。	❚❚ 演奏を再開する ►
CDの選択 （スキップ） （ディスクトレイが閉まっているときの操作）	ディスク送り	・押すごとにCD1➔CD2…➔CD5➔CD1…の順に選べます。	ディスク送り
曲の頭出し （スキップ）	◄◄ サーチ ►► 戻る 進む ・「ポン・ポン」と押す。	・演奏中に❙◄◄ボタンを押すと、その曲の頭に戻り演奏し直します。►►❙ボタンを押すと次の曲に移ります。くり返して押すと次のCDに移ります。停止中に押したときは、曲ごとの演奏時間が0:00表示になります。	オートサーチ ❙◄◄ ►►❙ 戻る 進む ・「ポン・ポン」と押す。
早送り・早戻し （サーチ）	◄◄ サーチ ►► 早戻し 早送り ・演奏中に押し続ける。	・演奏中の音が小さく聞こえます。希望するところで指を離します。	サーチ ◄◄ ►► 早戻し 早送り ・演奏中に押し続ける。
演奏中に他のCDを交換する	ディスク交換	・表示窓にEX-CHANGEが表示され、演奏していないCDが交換できます。もう一度押すとディスクトレイが閉まります。	ディスク交換

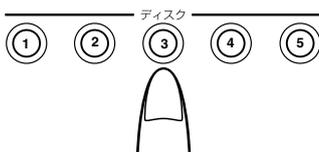
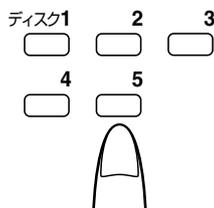
●ヘッドホンの音量を調節する

はじめから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て聴力に悪い影響を与えることがあります。音量は徐々に上げてください。

●電源を切るには

ディスクトレイが出ているときは、ディスクトレイが中に入ってから電源が切れます。スタンバイランプ（本体）が点灯になります。

CDを聞く（つづき） ー番号順に操作します。ー

ダイレクト演奏

● **ダイレクトにCDを選ぶ**
聞きたいCDが入っている番号のディスクボタンを直接押すと、そのCDから演奏が始まります。

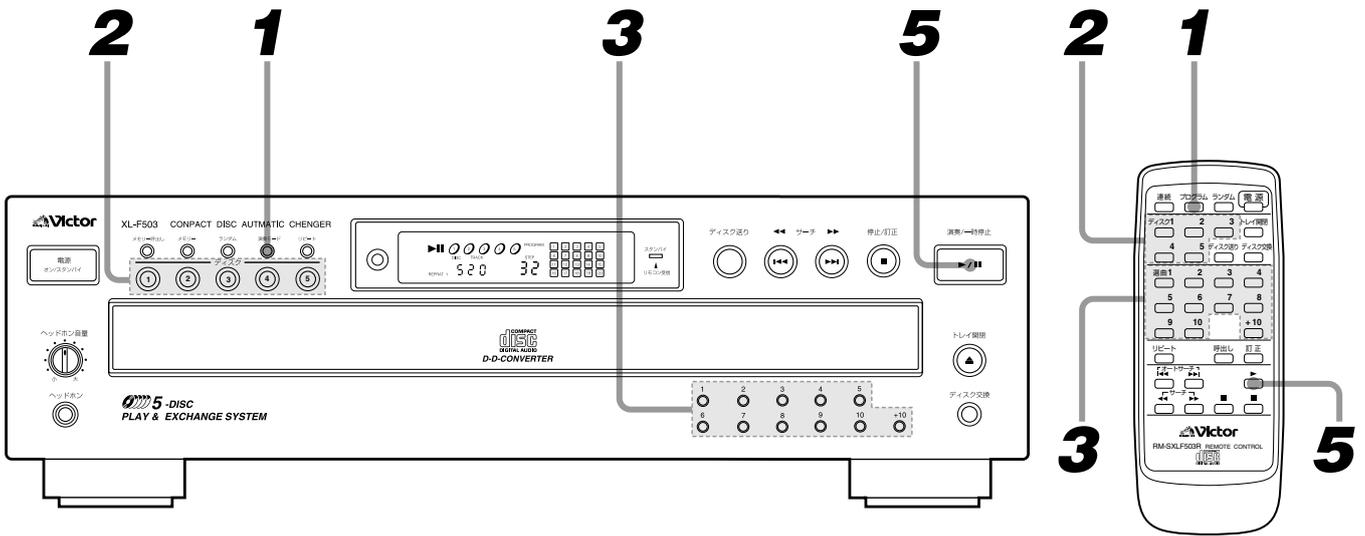
〈お知らせ〉
- 選んだ番号にCDが入っていないと、約4秒以内にそのCD番号の表示が消えて次のCDからの演奏になります。
- ディスク1～5すべてのCDの有無を本機が確認したあとは、CDの入っていない番号のディスクボタンを押しても受け付けません。

● **ダイレクトに曲を選ぶ**
あらかじめCDを選んでおきます。聞きたい曲番号と同じ選曲ボタンを押すと、直接その曲から聞くことができます。

● **1～10曲目までのときは…**
直接1～10のボタンを押す。

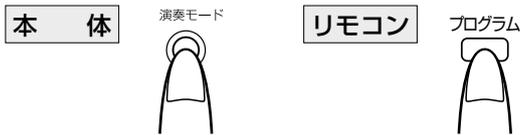
● **11曲目以上のときは…**
＋10ボタンを先に押します。

例：15曲目……＋10 ➡ 5と押す
20曲目……＋10 ➡ 10と押す
25曲目……＋10 ➡ ＋10 ➡ 5と押す

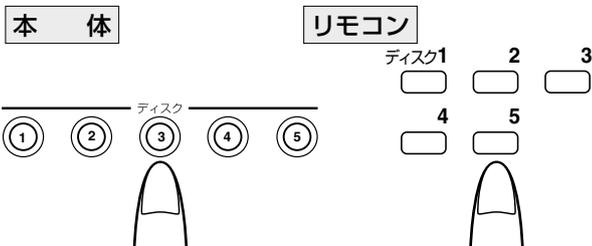
● **演奏中も別の曲に変更できます。**
聞きたい曲番号と同じ選曲ボタンを押してください。
選んだ曲より前の曲は、ミュージックカレンダーから消えます。

プログラム演奏　－最大32曲までプログラム(予約)できます。－

●停止中に操作します。

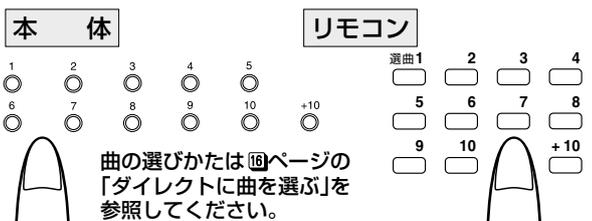
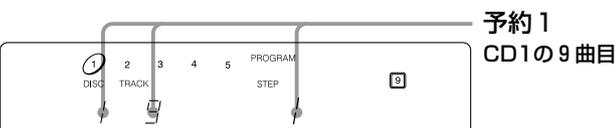
1 演奏モードボタン(リモコンはプログラムボタン)を押してプログラム演奏のモードにする

本　体　　　リモコン

・表示窓にPROGRAMが表示されます。

2 ディスクボタンでCDを選ぶ

本　体　　　リモコン

・CDを選ぶと、CD番号とAL(全曲の意味)が表示されます。
　このまま次のCDを選ぶと、ALが表示されていた番号のCDの全曲がプログラムされます。

3 選曲ボタンで曲を予約する

本　体　　　リモコン

曲の選びかたは⑯ページの「ダイレクトに曲を選ぶ」を参照してください。

・本体の▶▶IまたはI◀◀ボタンで曲を選んだときは、メモリーボタンを押して予約します。

4 2と3の操作をくり返す

・同じCDの曲を予約するときは、手順2の操作をくり返す必要はありません。
・最大32曲まで予約できます。これ以上はできません。

5 ▶演奏/II一時停止ボタン(リモコンは▶ボタン)を押す

・プログラム演奏がスタートします。プログラムした曲の演奏が終わると自動停止します。

●プログラム(予約)の確認

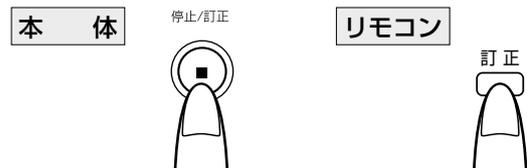
CDが停止中に…

本　体　　　リモコン

・プログラムした順に表示され、予約の順番が点滅します。
　このとき■停止/訂正ボタンを押すと、その予約が取り消せます。

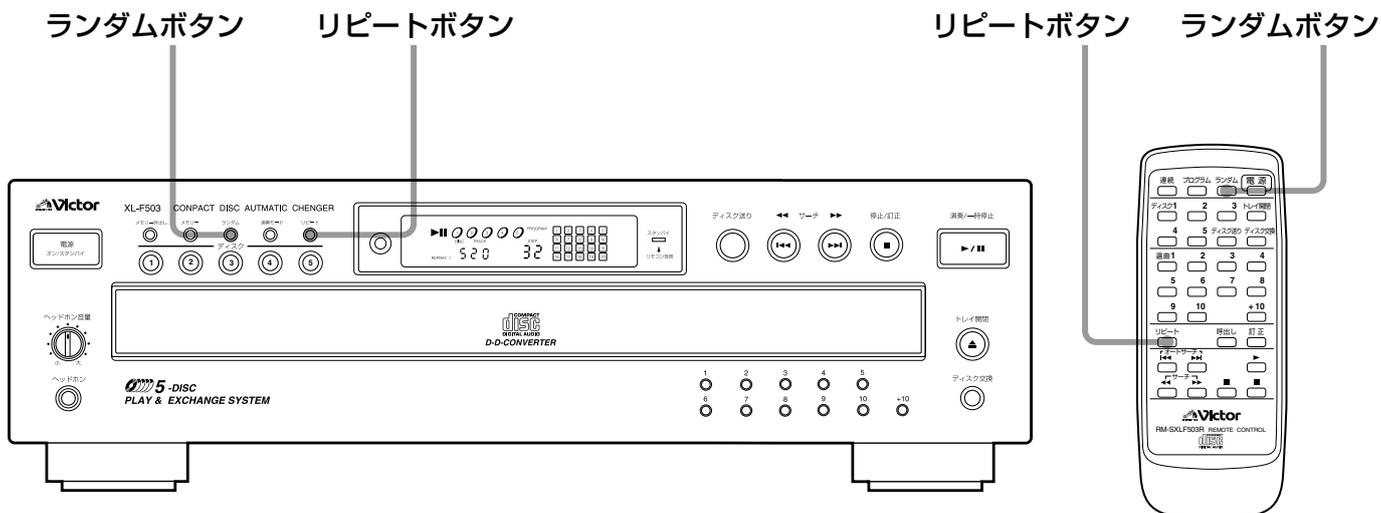
●プログラム(予約)の取り消し

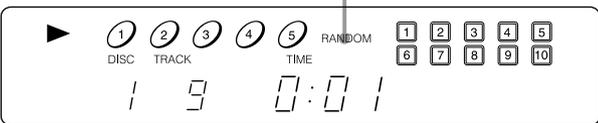
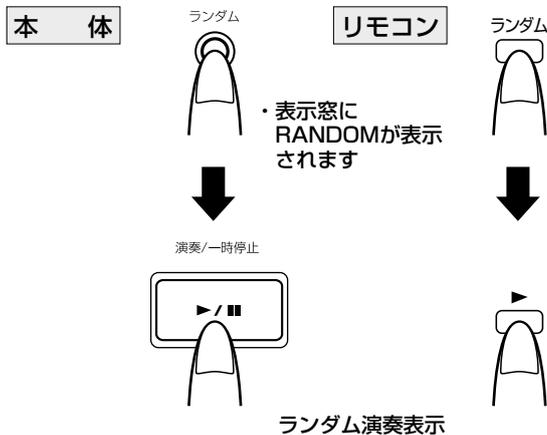
CDが停止中に…

本　体　　　リモコン

・押すごとに、予約した最後の曲から順に取り消されます。
　▲トレイ開閉ボタンを押すと、全部取り消されCDが出てきます。

●プログラム演奏のモードを解除する

演奏モードボタン(リモコンは連続ボタン)を押してPROGRAM表示を消灯させ、連続演奏のモードにする。ただしプログラム(予約)は残ります。

CDを聞く(つづき) ー番号順に操作します。ー

無作為に聞く(ランダム演奏)

曲順を無作為(ランダム)に選んで演奏します。
CDが停止中に操作します。

・全CDの曲を1回ずつランダムに演奏し、自動停止します。

●ランダム演奏のモードを解除するには

停止中に次のいずれかの操作をします。なお演奏中は解除できません。

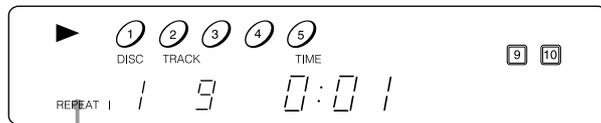
- **本体の演奏モードボタンを押す**
- **リモコンの連続ボタンを押す**

くり返して聞く(リピート演奏)

1曲または全CDの全曲をくり返して聞くことができます。
演奏中(または停止中)に操作します。

・押すごとに次のように表示され、モードが変わります。

停止中のときは、▶演奏/Ⅱ一時停止ボタン〔リモコンは▶(演奏)ボタン〕を押します。なおランダム演奏中にリピートボタンを押すと、全CDのランダムリピート演奏にすることができます。

例：ディスク1の9曲目のくり返し

1曲リピート表示

●リピート演奏をやめるには

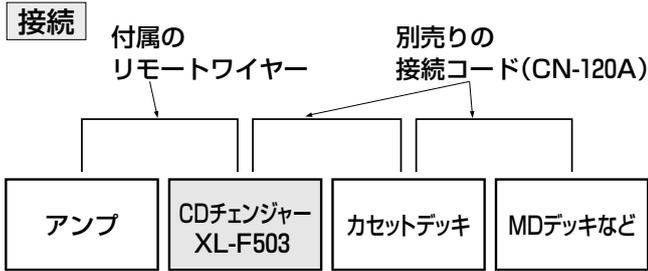
リピートボタンを押して、リピート表示を消灯(リピート解除)にします。

コンピュリンク機能について

● **コンピュリンクとは**

単品コンポーネントでありながら、一体型コンポのような簡単操作を可能にしたのが、コンピュリンク・リモート・コントロール・システム(略称：コンピュリンク)機能です。

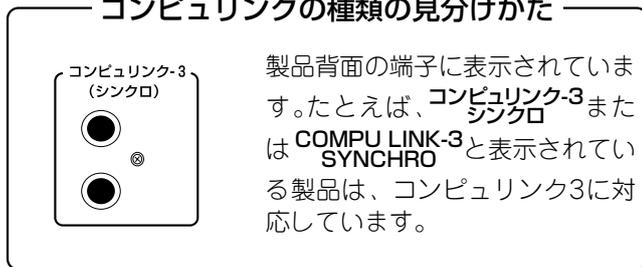
COMPU LINK-3 SYNCHRO または COMPU LINK-1 SYNCHRO 端子を持つ各機器を相互に接続することにより、簡単操作が実現できます。

接続

当社製品のコンピュリンクには、「コンピュリンク3」と「コンピュリンク1」があります。コンピュリンク3は、コンピュリンク1に一部の機能を追加したもので、互換性があります。

● **シンクロ録音**

ソース機器の演奏開始に同期して録音が自動的に開始します。

コンピュリンクの種類の見分けかた

製品背面の端子に表示されています。たとえば、コンピュリンク-3 シンクロ または COMPU LINK-3 SYNCHRO と表示されている製品は、コンピュリンク3に対応しています。

● **自動ソース(音源)選択機能**

本機の▶演奏/Ⅱ一時停止ボタン〔リモコンは▶(演奏)ボタン〕を押すと、アンプのソース(音源)は自動でCDになり演奏が始まります。またアンプのCDボタンを押したときも、本機にCDが入っていれば本機の演奏が始まります。

操作のしかた

● **シンクロ録音するには**

例：CDチェンジャー(XL-F503)➡カセットデッキ

1 **CDチェンジャーにCDを入れる**

・プログラム順に録音したいときはプログラムする。

2 **デッキに録音用のテープを入れる**

3 **デッキの○とⅡボタンを同時に押して「録音・一時停止」にする**

・必ず停止状態から操作する。

4 **CDチェンジャーの▶演奏/Ⅱ一時停止ボタンを押す**

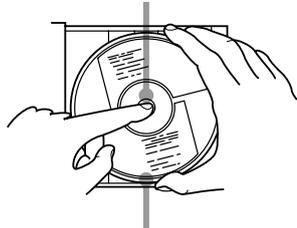
・CDの演奏とデッキの録音が自動的にスタートします。

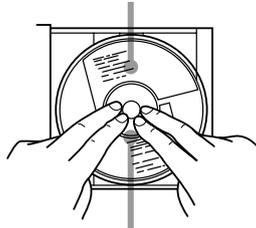
聞く

CDについて

CDの取り扱いかた

● ケースからの出し入れ

センターホルダーを押さえ

演奏面(虹色に光っている面)に触れないように持って出す。

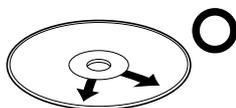
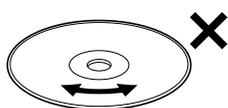
文字のある面を上にして…

上から押さえて入れる。

● CDにテープやシールなどを張ったり字を書いたりしないでください。
● CDは曲げないでください。

● 文字のある面にCOMPACT disc DIGITAL AUDIOのマークが入っている、JIS規格に合ったCDをお使いください。

● ハートや花などの形をしたシェイプCD(特殊形状のCD)は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

CDのお手入れ

演奏する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。
必ず内側から外側にふいてください。

必ず内側から外側へ

連続したキズは音飛びの原因となります。

● シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

お手入れ

本体の清掃

パネル操作面が汚れたら柔らかい布で**からぶき**してください。汚れがひどいときは水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布につけてふき、あとは**からぶき**してください。

お願い

● シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

故障かな？と思う前に ーおや？故障かな？と思ったら… 修理に出す前にもう一度お確かめください。ー

症状		原因	処置・確認のしかた	参照ページ
CDチェンジャー部	演奏が始まらない。	・CDが裏返しに入っている。	・文字のある面が上になるように正しく入れる。	14
		・レンズに露がついている。	・電源を入れたまま、数時間待ち乾いてから使う。	7
	特定の個所が正常に演奏できない。	・CDにキズがある。	・CDを交換する。	•
		・CDが汚れている。	・柔らかい布で内側から外側に向けてふき取る。	20
	1曲目から演奏できない。	・ランダム演奏のモードになっている。（表示窓にRANDOMが表示されている）	・演奏モードボタンを押してランダム演奏のモードを解除する。	18
	同じ曲の演奏がくり返される。	・1曲リピートのモードになっている。（表示窓にREPEAT 1が表示されている）	・リピートボタンを押して1曲リピートを解除する。	18
リモコン	リモコン操作ができない。	・リモコンの乾電池が消耗している。	・新しい乾電池（単3形）と交換する。	11
		・リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっている。	・直射日光や照明器具などの強い光が当たらない所で操作する。	11

● 上記の処置をしても正しく動作しないときは

本機はマイコンの働きで、多くの動作を行なっております。万一どのボタンを押してもうまく動作しないときは、一度電源コードを外し、しばらく待ってからつなぎ直してください。

お願い

● 本機の故障または不具合等により録音、再生およびCDの演奏などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社（以下、当社）にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  - ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  - ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保　証　書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管しておいてください。

保　証　期　間

お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後８年です。

この期間は、通産省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**または㉓ページの**「ビクターサービス窓口案内」**をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　｜　出張修理

㉑ページの**「故障かな？と思う前に」**に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口に修理をご依頼ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	**CDオートマチックチェンジャー**
型　　名	**XL-F503**
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も併せてお知らせください。
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	☎（　　）　　ー

修　理　料　金　の　仕　組　み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

■保守・点検
本機の性能を維持するため、長時間連続してお使いになる場合、およそ３年使用をめどに「保守・定期点検」を受けることをお勧めします。なおこの時間は使用環境（湿度、温度、ホコリ）等に左右されます。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

別売りアクセサリー

- ・ヘッドホン　　　　：HP-D77（ダイナミック型）
- ・接続コード　　　　：CN-160G（RCAピンコード）
　　　　　　　　　　　CN-120A（コンピュリンク端子用）
- ・電源コード　　　　：CN-325A
- ・光デジタルケーブル：XN-110SA（1m）
- ・クリーニングキット：CK-25（CD用）
- ・**CD**レンズクリーナー：CL-CDL

● 別売りアクセサリーは、お買い上げの販売店でお求めください。

ビクターサービス窓口案内（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北海道			
北海道	札幌 S.C.	(011)898-1180	札幌市厚別区厚別東五条1-2-29
	旭川 S.C.	(0166)61-3659	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157)25-8557	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0154)24-0797	釧路市松浦町3番3号
	帯広 S.S.	(0155)24-4493	帯広市東6条南12-11
	函館 S.S.	(0138)52-5324	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北			
青森	青森 S.C.	(017)723-2261	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178)44-4521	八戸市諏訪2-2-36
	弘前 S.S.	(0172)28-0165	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡 S.C.	(019)637-0121	盛岡市津志田西2-3-20
	水沢 S.S.	(0197)22-2773	奥州市水沢区天文台通り3-12
秋田	秋田 S.C.	(018)824-3189	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186)43-0980	大館市美園町5-6
	横手 S.S.	(0182)32-8873	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台 S.C.	(022)287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形 S.C.	(023)642-0279	山形市松山3-12-18
	酒田 S.S.	(0234)26-7145	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(024)952-6331	郡山市堤1-3
	いわき S.S.	(0246)27-7991	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
関東・甲信越			
群馬	前橋 S.C.	(027)255-5921	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター（株）前橋工場第二棟1F
栃木	宇都宮 S.C.	(028)638-1639	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	水戸 S.C.	(029)246-1560	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術棟1F
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03)5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	千葉 S.C.	(043)202-0263	千葉市中央区中央3-9-16 三井生命千葉中央ビル1F
	柏 S.C.	(04)7175-4322	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.C.	(047)353-6189	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03)5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	本郷 S.C.	(03)5684-8254	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	練馬 S.C.	(03)3993-7520	練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03)5748-3701	大田区池上二丁目8-10 プラムビル1F
	八王子 S.C.	(042)646-6914	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	CSセンター	(03)5631-2235	墨田区八広五丁目11-1
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03)5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大宮 S.C.	(048)654-5241	さいたま市北区東大成町2-658-1
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03)5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	横浜 S.C.	(045)651-0403	横浜市中区翁町1-3-1
	相模原 S.C.	(042)776-2052	相模原市古淵3-7-4
	海老名 S.C.	(046)234-4500	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
山梨	甲府 S.S.	(055)237-4016	甲府市湯田2-11-5
新潟	新潟 S.C.	(025)242-3431	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0258)24-8391	長岡市下々条2-1366-1
長野	長野 S.C.	(026)221-6583	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263)25-9165	松本市庄内2-4-21
東海			
静岡	静岡 S.C.	(054)282-4141	静岡市駿河区中田本町62-31 中田ビル1F
	沼津 S.S.	(055)922-1557	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053)421-3441	浜松市北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568)25-3235	北名古屋市九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564)25-0321	岡崎市葵町2-23 宝ビル101号室
	豊橋 S.S.	(0532)64-0815	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058)274-1947	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重 S.S.	(059)352-0841	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059)229-7780	津市大字藤方485-18

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北陸			
富山	富山 S.S.	(076)425-2397	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢 S.C.	(076)269-4821	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776)53-6916	福井市西開発3-211
近畿			
滋賀	滋賀 S.S.	(077)582-5812	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06)6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	京都 S.C.	(075)644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山 S.S.	(0773)22-8664	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06)6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	奈良 S.S.	(0742)35-0935	奈良市大宮町6-3-10藤本ビル1F
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06)6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺 S.C.	(072)254-2881	堺市北区百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	メンテナンスセンター	(06)6304-6715	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073)472-6799	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S	(0739)22-9976	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06)6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	神戸 S.C.	(078)252-0562	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路 S.S.	(0792)34-3833	姫路市中地南町11-1
中国			
岡山	岡山 S.C.	(086)243-1566	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082)243-9839	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(084)931-6984	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.C.	(083)973-3708	山口市小郡花園町5-28
	徳山 S.S.	(0834)27-1331	周南市野上町2-35
島根	松江 S.C.	(0852)31-8900	松江市学園1-16-39
鳥取	鳥取 S.S.	(0857)23-2151	鳥取市千代水1丁目22-1
四国			
香川	高松 S.C.	(087)866-1200	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.S.	(088)622-7387	徳島市沖浜2-37
高知	高知 S.S.	(088)882-0546	高知市高須新町4-1-43
愛媛	松山 S.C.	(089)923-0372	松山市中央1-4-12
	宇和島 S.S.	(0895)20-1018	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄			
福岡 佐賀	福岡 S.C.	(092)431-1261	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.S.	(0942)39-3495	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.C.	(093)921-3981	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.C.	(095)862-5522	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S.	(0956)33-5568	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.C.	(097)543-1422	大分市西大道3-1-1
熊本	熊本 S.C.	(096)353-4536	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985)24-5401	宮崎市霧島町3-59
	延岡 S.S.	(0982)35-7077	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099)282-8818	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098)898-3631	宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0406

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

主な仕様 ―本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。―

〈CDチェンジャー部〉

形式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
サンプリング周波数	44.1kHz
チャンネル数	2チャンネル・ステレオ
周波数特性	2 Hz～20kHz±1 dB（EIAJ）
S N 比	107dB（EIAJ）
ダイナミックレンジ	98dB（EIAJ）
全高調波ひずみ率	0.0022％（1 kHz）
チャンネルセパレーション	94dB（1 kHz）
ワウ・フラッター	測定限界以下（EIAJ）
ディスクチェンジャー	5 CDに対応

〈共通部〉

出力端子	〈アナログ〉 ライン×1系統、2V（フルスケール）/出力インピーダンス660Ω ヘッドホン×1、4 mW/32Ω 適合インピーダンス 8 Ω～1 kΩ 〈デジタル〉 オプティカル×1 －21dBm～－15dBm
その他の端子	コンピュリンク-3（シンクロ）×2
電源	AC100V（50Hz/60Hz共用）
消費電力	電源 入（オン）時10W 切（スタンバイ）時 5 W
最大外形寸法	幅435㎜×高さ128㎜×奥行388㎜（EIAJ）
質量	約5.1㎏

● EIAJは日本電子機械工業会規格に定められた測定方法による数値です。

● 付属品は7ページをご覧ください。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
23ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	フリーダイヤル **0120－2828－17** 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は **電話 (045) 450-8950** **FAX (045) 450-2275** 〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

・ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについては、21ページをご覧ください。

ビクターホームページ http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

1299MOMOZKJEM